

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902500	事業の開始年月日	平成16年12月1日
		指定年月日	平成16年12月1日
法人名	株式会社 スマイル		
事業所名	スマイル住まいの横須賀大矢部		
所在地	(238-0024) 横須賀市大矢部 3-18-5		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成26年1月18日	評価結果 市町村受理日	平成26年6月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpjDetails.aspx?JGNO=ST1471902500&SVCD=320&THN0=14201
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様・ご家族様・来客者様が来られた際気持ちのいい対応が出来るように努めて行きます。またお客様にとってもここが自分の家だと思って頂けるように努力して行きます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年2月27日	評価機関 評価決定日	平成26年5月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、京浜急行北久里浜駅から団地循環バスに乗り佐原橋停で下車後徒歩5分の幹線道路から1本入った静かな住宅街にあります。近くには川沿いの桜並木や公園、コンビニ、スーパー、レストランなどがあります。木造の建物で天井には大きな梁が通っています。ホームのシンボリツリーの「もちの木」が職員で作成したウッドデッキに囲まれた中庭に植えられています。

<優れている点>建物は外からでは気が付きませんが中に入ると8面体の山小屋風のしゃれた構造です。回廊式の廊下に囲まれた中庭には木造のベランダやベンチを置き、外気浴にも最適です。中庭に面したリビングの大きな窓ガラスからは対面の廊下が見通すことができ、職員の目が届きやすくなっています。各コーナーにはそれぞれ木のベンチやソファ、畳敷きに本棚などを置き、一人で楽しんだり家族やボランティアと話し合えるようにしています。また、リハビリのための歩行運動にも役立っています。近隣の小学校との交流は長く、運動会に招待されたり、車いすを3回寄贈されています。また、管理者が講師になって、学校で認知症に対する勉強会を開いて児童に理解を深めています。

<工夫点>家族へ法人独自のアンケートを作成し、いろいろな方面から要望や苦情などを把握しています。その中から課題を見つけ、内部の研修会につなげています。研修会では法人の各ホーム長が講師となり、事例検討をしてサービスの改善に反映しています。非常勤を含め職員全員に人事考課を実施しています。毎年所長が職員と面談し、目標や成果、悩みや苦情についても話し合っています。また、管理者も立ち合ったり、何時でも話を聞く体制で活性化を図る工夫をしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を作り、業務日誌に載せている。また、会社の理念は朝礼時読み上げている。	毎朝の朝礼時「高い技術とあたたかい心」という理念を職員一同唱和しています。ホーム独自の理念「居心地の良い生活を送れるよう支援します」などの5項目の理念を事務所に掲示しています。業務日誌の各ページにも印刷して常に意識し実践につなげています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の小学校・中学校との交流があり、行事にも参加している。	周辺にはコンビニや公園、川沿いの桜並木の散歩道なども多く、近隣の方々とは顔馴染みになっています。近くの小学校の運動会に招待されたり、認知症の勉強会や中学生の福祉体験学習の受け入れなど、交流が積極的で、地域の一員として貢献しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	中学校の就業体験を行ったり、一度近隣の小学校に認知症について話をしに行った事があります。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年に6回運営推進会議を行いそこで出た意見を元にサービスの向上に努めている。	年6回開催し、民生委員、市や地域包括支援センターの職員、家族・利用者などが参加して活動報告や空き室状況、地域の行事などについて話し合っています。バーベキュー大会やクリスマス会に合わせて一緒に開催し、参加し易いように配慮をしています。	年6回開催し、活動状況などを報告しています。会議は外部の人々の目を通して助言を受け、支援を振り返る場でもあります。議事の内容を記録し、職員で共有しケアに反映することも期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	何か相談事が合った時には市の職員と連絡を図り協力関係を気付けるようにしている。また認定調査時に市の担当者と良く話をしています。	市の高齢福祉課の職員とは入退去・事故報告などの手続き、介護の認定調査時の話し合いや利用者・家族との関係などの事例についての相談など、連絡を密にとり情報を共有しています。グループホーム協議会の研修会を通じて交流を深め協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	エレベーター・玄関の施錠は行っており、転倒リスクの高いお客様に関しては自室にセンサーを置かせて頂いているがご家族様に説明・同意を得ています。	入居時に身体拘束をしないケアについて契約書などで説明をしています。転倒の危険性のある利用者には、家族の了解を得て感知センサーを設置していますが、見守りを重視しています。本部の研修会に参加し、職員は身体拘束の弊害について正しく理解しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止について学ぶ機会を持つように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	なかなか学ぶ機会はないが機会があれば学びたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	新規契約されるお客様とは対面で行い不安や疑問が生じていないか確認しながら行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様からの意見要望については職員にも周知され日々の運営に反映するように努めています。	家族が訪問した際などに介護記録を閲覧しながら話し合っています。法人独自の家族アンケートを実施し、職員の対応や食事などの要望や不満を把握しています。要望の多い項目については法人内部の管理職同士で意見を出し合い、サービスの向上に取り組んでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	時間を作り聞く機会はなかなか作れていないが日々の業務の中で意見や提案を取り入れ行っています。	職員は常にメモ用紙を携帯し、日々の支援の中で気づいたことを記入しています。職員全員の「連絡ノート」に記録して様々な意見を引き出しています。毎年人事考課を実施し、個別の目標や成果など職員のやりがいにつなげ、悩みや不満などを聞いて活性化を図っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1度人事考課があり話し合い実績ややりがいが形になるような努力がされてきています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内での毎月の研修や定期的な研修の機会や外部での研修を受け回覧するなどの機会を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部の職員との交流機会は取れていませんが交流する機会を持つように努めていきます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス利用開始時にご本人様やご家族様の話を伺い安心して生活して頂ける関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学時や申込みで来所された段階でお客様やご家族様の不安や要望に対して説明・傾聴させて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	情報収集とアセスメントを行うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様の意思を尊重しつつ寄り添ったケアを心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月請求書を送らせて頂く際に生活の様子やスマイル便りでホームの様子をお知らせしています。またご家族様面会時にも必要に応じて最近の様子を話しさせて頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	お客様のお友達が面会に来て下さったり電話での対応も行っています。また戸外へ出かける機会を作るようにも努めています。	入居時のアセスメントから利用者の住み慣れた環境などを把握して継続できるよう支援しています。法人の車いす対応の自動車を利用して、毎月希望する場所や外食に出掛けたり、家族の協力で行き慣れた美容院やカラオケなど楽しめるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	Dルームでのお客様同士の関係に配慮しながら関係を深めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じてサービスが終了しても相談や支援に努めるよう努力していきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	趣味や思考を考慮し生活に取り入れて頂けるように努めています。	職員全員で記録する「連絡ノート」や入浴時の1対1でくつろいでいる時の会話などから思いや要望を把握するよう努めています。外食時には事前に店のメニューを借りたり、パソコンで調べたりして、本人がその写真を見て指差しで決めたりしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	コミュニケーションを行う中で情報を汲み取る様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々のお客様に合った食事量・睡眠など細やかな情報をスタッフ同士で共有・把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人様の状況変化・ご家族様の意見を聴き職員で情報共有・意見の反映を行い計画書を作成するように努めています。	職員が利用者の日々の変化や気づきを記入している「連絡ノート」などから、毎月行われるミーティングで利用者一人ひとりの生活の様子をカンファレンスして問題点や課題など確認しています。本人や家族の要望や意見を取り入れ介護計画書を見直し、更新しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録や様子などを具体的に記入し共有しながら実践し必要に応じて計画書の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その場に応じた対応を心がけ支援に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	学校行事やボランティアの方などと地域との関わりを持ち楽しみながら参加して頂けるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人様・ご家族様・職員が医療機関と連携を取りながら適切な対応を心がけご希望の受診が出来るようにしています。	家族および利用者の方の了承の上、ホームの往診医をかかりつけ医としています。専門医へは家族の付き添いで通院しています。内科（月2）精神科（月1）歯科（毎週）訪問看護（毎週）により健康管理に努め、適切な医療が受けられるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	状況の変化や気になる事が合った場合は訪問看護師や主治医などに相談するように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院やご家族様・主治医と情報を共有し相談に努め早期退院出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様・主治医・訪問看護師と話し合いながらなるべくご家族様の希望に添える様にしています。	契約時に説明し、看取りに関する同意書を交わしています。必要になった段階で関係者と再度話し合っ対応しています。職員へは主治医による勉強会を実施し、看取りの介護計画を立てて支援しています。今までに数名の看取りを行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の連絡方法を把握し急変時に備えての対応ができるように努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を行い改善点等を話し合い職員間で話し合っています。	避難訓練は消防署の指導を含め、年2回実施することとしています。事務室には火災発生時の対処方法や職員の連絡網などを掲示し、飲料水や非常食などを備蓄しています。スプリンクラー、火災通報装置を設置して備えています。	避難訓練の際、近隣の方に声掛けをしていますが参加までには至っていませんでした。今後も継続して近隣へ働きかけ、緊急時脱出後の見守りの依頼など、地域との防災協力体制を築いていくことが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お客様一人一人を尊重しつつプライバシーにも配慮しケアに努めています。	職員は、採用面接時や入職時の運営本部の研修を受け、利用者が穏やかに過ごせるように、言葉かけにも注意をはらって接するように努めています。職員の言動で気になる場面があった時には、所長や管理者が伝えて職員の意識を喚起しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の意見や思いを受け止め、時には気分転換を図りお客様の希望に寄り添うケアに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お客様のペースに合わせて日々過ごせるように努めたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	整容や身だしなみにも配慮しおしゃれして頂けるように支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行えるお客様には片付けや仕度など行って頂いています。また見た目にも配慮し盛り付けを行っています。	献立は利用者にも食べたいもの聞きながら作っています。バーベキューや仕出し弁当、お重に詰めたおせちなど、行事の際には趣向をこらし、外食の機会も多く設けるよう工夫しています。利用者は、できる範囲で食事の準備や後片付けを職員と一緒にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個々の状態を把握し支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	出来る限りご自分で行って頂きますが行えないお客様に関しては職員で行うようにしています。また週に1度訪問歯科での口腔ケアを受け清潔を保てるように努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンに合わせ声掛けや誘導を行いなるべくトイレでの排泄を心掛けて行くように努めています。	排泄チェック表で個々の排泄状況を把握しています。日中はトイレで排泄できるよう、一人ひとりのタイミングや仕草などからさりげない声かけをして誘導し、トイレでの排泄ができるように支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	つ子の排泄パターンを把握し、排便の有無をチェックし食物繊維をとるよう努力したりしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご本人様の要望に答え入浴して頂くように努めています。また、季節に応じて菖蒲湯や柚子湯、バスクリンを入れた入浴を楽しめるようにしています。	入浴は1日おきを基本としています。入浴に気が乗らない場合は、声のかけ方を工夫して誘っています。また、ゆず湯や菖蒲湯、みかん湯にしたり、入浴剤を入れて「いい匂い」「きれいな色」など楽しめる工夫をして利用者に喜ばれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々のお客様の状態に応じDルームや自室で思い思いに過ごして頂けるよう努力しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	お客様の状態を観察したり、新しい薬を服用する際は変化がないかなど様子観察を行って行くよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お客様の出来る事を把握し行って頂いたりお手伝い・散歩・気分転換ができる様に努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お買い物や散歩・月に1度外出する機会を作るように努力しています。	利用者の心身の状態により、散歩や花見、近隣の神社やスーパーへ出かけています。また、外出担当の職員を決めて、毎月外出の機会を設けています。車椅子利用の利用者も含めて外の空気や景色に触れるように支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金庫にお客様のお金をお預かりしており必要に応じて使えるような状況になっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	こちらから掛ける事はなかなかありませんが電話がかかってきた時はご本人様に変わり話して頂いたりしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様に心地良く過ごして頂く為清潔を保ち、整理整頓に心掛けています。また、季節にあった飾りつけ等を行い季節感も味わって頂けるように努めています。	建物内は中庭を囲んだ八角形の回廊式で各コーナーにベンチがあります。仲良しの人と、家族などと、または一人で落ち着いて過ごせる空間になっています。季節の花を飾り、居間は床暖房を設置し、臭いや湿度にも気を配り、快適に過ごせるよう配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	Dルームで他者様と過ごす事も多いですがその時の状況に合わせ居室で音楽を聴き過ごす事もあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お客様が使っていた物をお持ち頂くように入居時に声掛けをしています。	居室にはエアコンと洗面台が備えられ、利用者は、持ち込んだ家族の写真や位牌、趣味の道具、タンス、テレビ、写真など馴染みのものや好みの品々に囲まれて暮らしています。職員は衣類の整理や清掃などに気を配り、安全な環境づくりに努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人一人の出来る事・分かる事を把握し職員で共有し行える事は行うようにして頂いています。		

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	業務日誌に事業所の理念を載せ共有・実践に努めて行きます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎日近所のスーパーへ買い物に行ったり、近隣の小学校との交流を通じて地域との交流に努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	近隣の小学校での朗読会やベルマーク集め・認知症についても1度話しに行った事があります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	年に数回運営推進会議を行い活動の報告・話し合いを行いそこでの意見の反映をサービスの向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の担当者との連絡を密に取り協力を得られるように良い関係をきづけるように心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	エレベーター・玄関の施錠は行っていません。転倒防止のセンサーに関してはご家族に説明し同意を得ています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待にあたる行動を学び防止に努めています。虐待と思われるケースについては関係機関と連携し対応にあたっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度については学ぶ機会を持って行きたいと思います。必要なケースについては専門家に委ねています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	お客様・ご家族様に不安や疑問を生じていないか確認しながら行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議は行っていますが外部や職員への周知は行えていないので行うように努めていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的にミーティングを行い意見を出し合い改善等が行われています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	働き方に関しては個々の職員の希望が振り入れられていますが実績ややりがいに関しては徐々に工夫がなされてきています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内・社内外の研修が用意されており参加する機会が作られています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	職員が社外のスタッフと交流する機会は中々作られていないが作れるように努めて行きたいと思います。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にご本人様困っている事や要望を聞き添えるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学時や契約時にご家族様が困っている事・不安に思っている事を聞き要望に添えるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	丁寧に情報を収集しアセスメントを行うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の意思を尊重しつつ寄り添ったケアを行えるように心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月請求書を送る際に生活の様子を送ったり、ご家族面会時に近況を報告したりしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様が通っていたカラオケ店に行ったりお友達、ご近所の方がらい所されたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お客様同士の関係を配慮しつつ関係を深めるよう努力に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要に応じて契約が終了したお客様の相談や支援に努めたいと思います。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	概ねご希望に添うように支援を行っていますが、必要に応じ職員間で話し合い検討を行っていきます。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴や把握に努めていきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々変化ある中で状況変化を見極め見守り、把握に努めるようにしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に1度ミーティングを行いお客様の状態変化を職員間で共有し介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子や状態変化を記録し職員間で申し送り、共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ホームでの入浴が厳しいお客様に関しては訪問入浴を利用するなどの対応を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の中学生の就業体験などを受けいれたり、ボランティアの方にも来て頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時にご家族様と相談し主治医を決めて頂き安心して過ごせるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	お客様の状態急変時などいつもと違う事があれば主治医等に相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様・主治医と相談し情報交換しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	研修・勉強会を受けスタッフ同士で確認しご家族様・主治医と密に連絡を取るよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修等で確認を行い適切な行動が取れるように努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に訓練を行い、近隣と協力しあえるように努めて行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人個別に対応し居心地良い空間作りを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の希望・要望になるべく添えるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	声掛け等を行いお客様の意思を尊重するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様が選ばれた服を尊重しつつ季節に合ったものへ声掛け行う等の対応をしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行えるお客様へ声掛けを行い意欲を持ちながら楽しめるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個々の食事量を把握し提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	お客様各自で行って頂いていますが不十分な所もあるかとは思いますが。週に1度訪問歯科で診て頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	お客様のペースに合わせてトイレ誘導など行いできる限りトイレでの排泄を行うよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の有無を確認し便秘時は下剤等で調整おこなっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご本人様の希望・要望になるべく添えるよう努めています。希望に添えるよう努め入浴を楽しんで頂くようにしています。柚子湯や菖蒲湯、バスクリン等使うこともあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人一人に合わせた寝具が用意されており安心して休めるような環境も整えられています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医・訪問看護師とも連携を取り正しく、効果的に服薬出来るように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	特技や好みを考慮し可能な限り活動や役割を行えるようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	可能な方には毎日の買い物に同行して頂いたり定期的に外出の機会を作るように努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お客様の様子や状況を考慮しつつ可能な方には行えるよう努めたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様、友人からの電話はご本人様に取り次ぎ会話して頂いています。また手紙を出したいと希望された方には便箋・切手などの手配を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間の掃除は毎日行い気持ち良く過ごせるように努めています。また、時期に合った飾りつけをし季節を感じて頂けるよう工夫をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	Dルームにソファや椅子、三角コーナーには備え付けの椅子が設置されており思い思いに過ごせるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人様の使い慣れた物をお持ち頂き居心地良く過ごせるように努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々に趣味や特技を生かした生活を送れるよう材料や器具を揃えています。また安全に過ごせる為に危険防止や不安・混乱のないよう工夫をしています。		

(別紙4(2))

事業所名スマイル住まいる横須賀大矢部

目標達成計画

作成日：平成 26 年 6 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	震災・災害時の対応	避難訓練を定期的に行うとともに火災だけでなく他の事も想定した避難訓練を行うようにする。	避難訓練は年2回は行っているが、夜間想定や震災想定での避難訓練は行っていないので定期的に行うようにする。	6ヶ月
2	34	急変時や事故発生時の対応	スタッフ皆が急変時や事故発生時の連絡の仕方やご家族への連絡も含め適切な対応が出来るようにする。	マニュアルの作成や話し合いの中で浸透させていく。	6ヶ月
3	3	運営推進会議を活かした取り組み	年に6回行っているがスタッフへの周知不足の所もあったのでスタッフも何をやっているかわかるようにする。	運営推進会議をおこなったら議事録をスタッフにも回覧しみんなにも何を行ったのか分かるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月